

9/5
2019年第1340号
(毎月5、15、25日発行)

大阪府歯科保険医協会 会武
大発行人 和田
大阪市浪速区幸町1-2-33
電話(06)6568-7731(代表)
http://osk-net.org/
●定価・年間10,000円 月1,000円
●1977年5月23日第三種郵便物認可

患者に署名への協力を訴える三井副理事長



保険でより良い歯科

署名を力に歯科医療の改善を

協会目標3万筆へ総力を結集

歯科医師自らが訴える

三井泰正副理事長

協会が取り組む「保険でより良い歯科医療を求める」請願署名は、8月30日時点で大阪府全体で1万4千筆を超えた。協会単独では、7943筆(会員協力量率6.3%)の到達。署名は協会単独で3万筆を目標に、秋の国会に届ける。協会には多くの会員、患者の声を届けようとする協力を求めている。

「自ら患者に説明することをお勧めしています。西淀川区で開業する三井泰正副理事長は、歯科者さんは心ええてくれませぬ。訴えに共感し、複数枚持ち帰って家族の分、友人の分と主体となって署名を積み上げた。受付に設置している署名スペース。治療の合間に受付に顔を出し、患者

子どもの健康格差訴え

9月20、27日(金)放送



番組収録の様子

ラジオ関西「寺谷一紀のまいど!まいど!」(毎週金曜午前7時~9時54分放送)内のコーナー「医療お〜ナル」に江原副理事長が出演。学校健診後調査をもとに子どもの健康格差の問題を訴える。コーナーでは、寺谷氏が昨今の医療・介護、健康などの問題に切り込む。

▽放送日時
9月20、27日(金)午前7時半から5分間
※※週月曜のYouTubeでも視聴可能

録音・弁護士の帯同

個別指導で被指導者が指導のやり取りを録音することや、厚労省も認めてきた。ところが、被指導者からの指導時の録音の申し出に対して、「何に使うのですか?」「指導内容の(守秘義務が)守れなくなる」などと返答し、録音を自重するよう仕向ける指導官も存在する。こうした録音に対する否定的な対応をされた場合、指導官との間に「緊張感」を生みたくないため被指導者が録音をためらうことが少なくない。

被指導者を守る証拠

指導事項の中には被指導者が納得していない項目を一方的に盛り込んでいたり、そもそも指導時に言及のなかった項目が加わっていたりすることがある。身に覚えのない「自主返還」を防ぐため

録音は被指導者を守る証拠になる

指導事項の中には被指導者が納得していない項目を一方的に盛り込んでいたり、そもそも指導時に言及のなかった項目が加わっていたりすることがある。身に覚えのない「自主返還」を防ぐため

録音は被指導者を守る証拠になる

指導事項の中には被指導者が納得していない項目を一方的に盛り込んでいたり、そもそも指導時に言及のなかった項目が加わっていたりすることがある。身に覚えのない「自主返還」を防ぐため

録音は被指導者を守る証拠になる

指導事項の中には被指導者が納得していない項目を一方的に盛り込んでいたり、そもそも指導時に言及のなかった項目が加わっていたりすることがある。身に覚えのない「自主返還」を防ぐため

訂正とお詫び

8月25日付4面「経税部だより」の本文最下段10行目「株価対策に偏重していないでしよう。」とあるのは、「株価対策に偏重していないでしようか。」の誤りでした。お詫びして訂正します。

個別指導の実相

4

署名は次号同封

協会までご返送ください。

東大阪市長選

東大阪・八尾・柏原地区 候補者推薦

17項目で協定

矢部あづさ同地区責任者は8月13日、東大阪市内で浜氏と懇談。子ども医療費助成制度や歯科診療制度の拡充をはじめ医療・福祉など社会保障に重点を置いた17項目で政策協定を結んだ。

自分の意見が多数を形成できないし、選ぶ議員がいなくて、選挙は国民にとって無意味なものに成り下がる。

しかし、それでも私は投票し、デモや集会に参加することで政治に何とか自分の声を届けたいと願う。民主主義を形作るには国民一人ひとりの声なのだから。(一)

歯界

先の参院選で投票率が50%を割った。民主主義が危機に瀕している。人は色々な環境で育ち、それぞれの事情があり、色々な要望がある。それを一纏めにして統治するのは難しい。しかし、多くの意見を聴き、調整することこそ民主主義ではないだろうか。民主主義は多数決であるという間違った考えが国民だけでなく議員のなかにも広まっている。国民は自分の声を政府に伝えるには多数派であることが必要であり、少数の意見は聞いてはもらえないと考える。また、与党議員は政党で多数派を形成することが目標で、政策は飾りぐらいいしか思っていない。

被指導者を守る証拠

録音は被指導者を守る証拠になる

東大阪市長選

東大阪・八尾・柏原地区 候補者推薦

17項目で協定

矢部あづさ同地区責任者は8月13日、東大阪市内で浜氏と懇談。子ども医療費助成制度や歯科診療制度の拡充をはじめ医療・福祉など社会保障に重点を置いた17項目で政策協定を結んだ。

自分の意見が多数を形成できないし、選ぶ議員がいなくて、選挙は国民にとって無意味なものに成り下がる。

しかし、それでも私は投票し、デモや集会に参加することで政治に何とか自分の声を届けたいと願う。民主主義を形作るには国民一人ひとりの声なのだから。(一)

歯界

先の参院選で投票率が50%を割った。民主主義が危機に瀕している。人は色々な環境で育ち、それぞれの事情があり、色々な要望がある。それを一纏めにして統治するのは難しい。しかし、多くの意見を聴き、調整することこそ民主主義ではないだろうか。民主主義は多数決であるという間違った考えが国民だけでなく議員のなかにも広まっている。国民は自分の声を政府に伝えるには多数派であることが必要であり、少数の意見は聞いてはもらえないと考える。また、与党議員は政党で多数派を形成することが目標で、政策は飾りぐらいいしか思っていない。

訂正とお詫び

8月25日付4面「経税部だより」の本文最下段10行目「株価対策に偏重していないでしよう。」とあるのは、「株価対策に偏重していないでしようか。」の誤りでした。お詫びして訂正します。